

広 報

ふじかわ

7 月 号 昭和61年 7 月 5 日 発行 No. 3 0 0

町 の メ モ

昭和61年 7 月 1 日 現在

人 口	16,905人
増 減	-12人
男	8,335人
女	8,570人
世 帯 数	4,415世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課



みんな
元気いっぱい

(第1回心身障害(児)者スポーツ大会)

町のことしの目標
「健康な心とからだに住みよい町に」

おもな内容

- 2～3 ページ 6月定例会
- 4～5 町のわだい……二小Bチーム自転車子ども大会で優勝、町心身障害(児)者大会で松野チームが優勝
- 6～7 社会教育あれこれ、町の昔ばなし伝説
- 8 戸籍の窓、お母さんの知恵袋、文協俳句会

昭和61年 各区のことしの目標

- 笑顔で明るく健康に (坂下)
- 挨拶で今日も始まる旭町 (旭町)
- 人の和 区の和 健康から (富士松野)
- 健康な心はあなたの笑顔から (俣下町)

6月定例会

農林水産業・土木・教育費を中心として
6,629万1千円を補正
一般会計予算は30億6,929万1千円に

町議会の6月定例会が、6月27日(金)午前9時から開会されました。常葉雅文町長の一般行政報告のあと、当日提案された議案は、人事案件一件、専決処分二件、補正予算二件、条例の制定一件、条例の一部改正七件、その他一件の合計十四件で、慎重に審議された結果すべて原案のとおり可決されました。人事案件の固定資産評価審査委員に、故芦川芳光氏(木島)の後任として、久保田久男氏(60・小山)が選任されました。今回の一般会計補正予算は、農林水産業費・土木費・教育費を中心として、六千六百二十九万一千円を補正、これに要する経費は、国・県支出金、繰越金などを充当し、予算総額は三十億六千九百二十九万一千円となりました。なお、一般行政報告、一般会計補正予算などの内容は次のとおりです。

町長の一般行政報告

常葉町長は一般行政報告に入る前に「これまでの経験をふまえて、新たな発想に立って『和の町政をめざし・健康と文化のまちづくり』の実現に向かって、①町行政の改革と財政の健全化 ②教育の充実と文化の復興 ③都市整備事業の推進 ④スポーツ・健康・福祉施策の充実 ⑤産業の振興——具体的事業として駅前再開発・総合体育館の建設・新富士川橋の建設・富士川身延線バイパスの完成・中郷農免農道の開設・小車の里公園の整備・第二中学校特別教室の建設などで、これらの諸施策・事業を遂行していくうえで、多くのみなさんご理解とご協

力をお願いします」と、また、昭和70年をめざした第二次総合計画の初年度としての今年は「健康でうるおいのある町づくり・安全で住みよい町づくり・誇りと働きがいのある町づくり・おもいやりのある福祉づくり・産業基盤整備と活性化対策を重点施策として事務・事業の執行を進めているところで」と方針を語りました。

◎**県企業局の住宅用地分譲について**
昭和55年から造成工事が始まり、下水処理場・周辺の環境整備も完成し、自然の景観と造形の美が一体となり、四百七十区



団地内にはのんびりくつろげる休憩所



子どもたちに人気の丸太遊具

◎**野田山健康緑地公園の完成と効果の利用について**

昭和57年から四カ年をかけて保健休養林造成事業として整備を進めてきましたが、本年3月をもって全工事が完成し、去る5月29日竣工式を行い、その完成を祝った事は記憶に新たなものがあると思います。緑豊かな自然とすばらしい眺望のもとに、町民のみなさんが憩の場として、健康増進の場として大いに利用されることを望んでいます。

◎**文化事業の振興について**
第二次総合計画において、その計画の基調を「内面充実の十年間」としており、これに対応

すべき施策の展開も重要であります。

このような観点にたつて、町の文化振興を更に積極的に推進する所存です。

町民のみなさんが、より文化性の高い演劇・音楽演奏会などに接し、心なごむ機会を定期的に開催すべき「文化事業振興会」を発足させたことは周知のとおりです。

本年度の事業計画としては、すでに実施し、好評でした6月21日の「祖堅方正のブラスアンサンブル」演奏会・8月24日に



定例会には大勢の傍聴者が

は、劇団こぐま座の人形劇「三匹の子ぶた」・62年1月には「新春寄席として三遊亭円楽一座の招へい」・3月中旬には、文化講演会となっております。

この事業実施につきまして、文化事業振興会の役員及び議員の方々と並びに町民のみなさんご理解・ご協力をお願いします。

◎**昭和60年度一般会計予算の納閉鎖の概要について**

昭和60年度の予算執行については、5月31日をもって出納閉鎖しましたが、一般会計においては、決算見込額が歳入三十八億五千九百四十三万六千円・歳出三十六億八千七百七十八万一千円で、差引残額が一億七千六百五十五万五千円です。また、町税の収納率は九九・三六割(前年度は九九・二五割)となっております。

可決された提出議案

- 固定資産評価審査委員選任につき同意を求めることについて
- 専決処分について(昭和60年度富士川町一般会計補正予算第五号)
- 専決処分について(富士川町

税条例の一部を改正する条例(中野台字の設定)の新設について

○富士川町住宅団地下水処理場条例の制定について

○富士川町職員給与に関する条例の一部を改正する条例について

○富士川町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

○富士川町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

一般会計補正予算のおもな内容

- 総務費へ 一千二百七万円
- 衆・参議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費
- 日本語ディスプレイ及びシリアルプリンター購入費
- 民生費へ 四百五十四万四千円
- 社会福祉協議会補助金
- 衛生費へ 四百五十万九千円
- 可燃物収集運搬業務委託料
- 農林水産業費へ
- 八百五十二万八千円
- 公共林道室野中山線及び足ヶ久保中山線工事
- 土木費へ 二百六十六万円
- 吉津室野線改良工事
- 公共上町小山線改良工事用地代教育費へ 一千八百三十三万円
- 二中学校耐力度診断委託料
- 第一幼稚園保育室及び職員室屋根塗装工事
- 妙見古墳群発掘調査費
- 指定文化財木島区青面金剛像修理補助金

名誉町民 野田力三氏逝去



故野田力三氏(81) (東京在住)

名誉町民の野田力三氏が、去る6月13日逝去されました。同氏は、大正12年野田製材所に入社(現在の野田合板株式会社)。昭和22年同社の社長に就任して以来、日本合板工業組合顧問などの要職を歴任し、わが国の合板建材業界の先覚者として指導的役割をなされています。

佐野喜平氏が

県町村議会議長会副会長に就任



佐野喜平氏 (61) (新町本町)

町議会議長で庵原郡町議会議長会長の佐野喜平氏が、5月26日静岡市で行われた静岡県町村議会議長会理事会で、副会長に選出されました。

ための各種講演会の開催や町村の当面する事項の実現のために国・県に対して陳情・要望を行うなど幅広い活動を行っています。向こう二年間副会長として活躍される同氏は「各町村にはいろいろの課題が山積していますので、国・県と地域との太いパイプ役として、これらを早期に解決すべく微力ながら地域発展のために尽していきたい」と就任の抱負を話していました。

町環境モニター・婦人会会員などが 町内でクリーン作戦を実施



ゴミ袋などを手にして クリーン作戦中の参加者

6月1日、町環境モニター・婦人会会員・役員職員三十四人が参加し、家族連れの子供の場として親しまれている野田山健康緑地公園やたご池周辺などでクリーン作戦が行われました。

この作戦は関東地方環境美化運動統一キャンペーンの一環として行われたもので、参加者たちは、ゴミ袋などを手にして、公園内や周辺に捨てられている空き缶・ビン、紙くずなどを一つひとつ拾い集めたり、訪ずれている人にゴミの持ち帰りやゴミ

捨て防止を呼びかけるとともに、町内のよごれの状況を視察しました。

ちなみに、当日、燃えるゴミがゴミ袋20袋、空カン・ビン類約八百本、拾い集められました。

望月・古屋氏が 県更生保護大会で表彰される



望月計夫氏 (66) (本通一)



古屋義啓氏 (60) (南町二)

6月6日(金)、掛川市生涯学習センターで開催された「第十三回静岡県更生保護大会」の席上、長年保護司として活躍さ

れた望月計夫氏が関東地方保護司連盟会長表賞を、また、古屋義啓氏が静岡県保護司連盟会長表彰を受賞されました。望月氏は、昭和47年保護司に就任以来十四年間に亘り裁判所の決定を受けた保護観察者や仮出所者などの処遇改善と犯罪の予防に尽された功績により、また、古屋氏は、昭和55年に保護司に就任以来六年間に亘り罪を犯した人の社会復帰や保護と犯罪の予防に尽された功績により、このたびの表彰となりました。

県企業局造成団地名 中野台団地

字名「中野台一・二丁目」に

みなさんが快適な住宅用地を適正な価格で求められるようにと、県企業局が、松野地区中野で進めてきた総事業費約四十六億円の宅地造成工事が3月末すべて完成しました。

この団地の名称は、みなさんから寄せられた名称などをもとにして「中野台団地」と決定し、字名も南・北松野から中野台一・二丁目になることになりました。同団地の総区画は四百七十区画です。このうち一般分譲分は四百五十区画で、今年三十四区画が9月末から受付開始されます。

二小Bチーム優勝、二小Aチーム準優勝 郡子ども自転車大会で

「第十六回交通安全子ども自転車大会」が、6月28日(土)蒲原町の蒲原西小学校グラウンドで行われました。

この大会は、交通事故防止のため、自転車の安全な乗り方教育を実施し、交通安全を日常生活の中などで習慣づけていくことなどを



喜びの二小チームの選手

目的として行われました。当町から出場した二小の六チーム二十四人の選手は、五百点満点の学科・実技試験に真剣に取り組んでいましたが、実技試験では緊張のあまり信号の確認などでミスをおかす選手もいました。

その結果、団体の部で二小Bチームが優勝、二小Aチームが準優勝し、また、個人の部で押川和史くん(二小六年)が準優勝しました。わずかの差で入賞をいっした一小チームには敢闘賞が贈られました。

町の

町代表八チーム 善戦むなしく敗退 郡子ども球技大会

「昭和61年度庵原地区子ども球技大会」(庵原地区子ども育成者連合会主催)が、6月8日(日)由比町の由比中学校グラウンドや町民体育館で行われました。

この大会には、各町の予選を勝ちぬいてきた男女それぞれ十二チームが出場し、男子ソフトボール、女子バレーボールの種目で熱戦をくりひろげました。

その結果、当町から出場した八チームは、善戦むなしく二回戦や予選リーグで敗れてしまいました。

当日、出場したチームは次のとおりです。◇男子ソフトボールの部 木島・八幡町・本通り・大北チーム ◇女子バレーボールの部 南町一区富士見町・上町・南町二区・坂下チーム

わだい

第一回町心身障害児者大会で 松野チームが優勝

町身体障害者福祉会(渡辺政志会長・会員百人)・町手をつなぐ親の会(若月正敏会長・会員二十六人)主催の「第一回富士川町心身障害者(児)者スポーツ大会」が、6月29日(日)町立第一小学校体育館で行われました。

この大会は、両会の会員などがスポーツを通して親睦や健康増進を図ることを目的として行われたもので、当日、花田裕紀(14・宮町)くん、太田利三(46・相生町)さんが力強く選手宣誓をした後、中之郷・岩淵・松野の三チームに分かれた選手約八十は、元氣いっぱい風船・宝船リレー、スプーン競走、順送球など十三種目で熱戦をくりひろげました。

その結果、松野チームが優勝し、明るい社会づくり運動静岡県協議会富士川支部(風岡肇会長・会員四百二十三人)から贈られた優勝旗を獲得しました。

なお、富士川町ボランティア会(岩崎袈裟治会長・会員十三人)のみなさんがお手伝いにかつけつけ、用具の準備や選手の世話などに活躍されました。

- 大会結果は次のとおりです。◇優勝 松野チーム ◇二位 中之郷チーム ◇三位 岩淵チーム

点字普及キャンペーン中の 真野さん親子が来町

白い杖をつき、妻と一緒に子どもが点字電報の実現を訴えて、東京から京都約五百十歳の親子徒歩キャンペーンを続けている東京の真野博行さん(35)、妻の美香さん(23)、長男の貞治ちゃん(1)が、6月1日役場を訪れました。

町身体障害者福祉会の会員などの出迎えを受けた博行さんは「今回のキャンペーンは妻子と一緒に続けています。私が全盲ですし、子どもが一歳ですので、健康が一番心配ですが、目的実現のため歩き続けます」と力強く語り、町を後にしました。



元気に役場前を出発する 真野さん親子

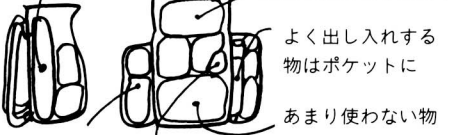
親子で挑戦!

野外生活の知恵 サバイバル入門

荷物のつめ方

野外では、両手をあけて行動したほうが安全なので、なるべくリュックを使います。

背中には柔らかい物を当てる 重心を上の方に置く



よく出し入れする物はポケットに あまり使わない物 小物はまとめて袋に入れてコンパクトに おこう



野外活動に何をっていくか決めるのは、出発前の大事な仕事。季節、目的、日数、宿泊泊まりカテント生活かなどで、そろえる物が違うからです。ここでは、持ち物の基本的なチェック・ポイントを見てみましょう。

持っていくたい日用品



ハンカチ、チリ紙、タオル、セーターやジャンパーなどの防寒具、メモ用紙、筆記具、針、糸、洗面具、ビニール袋、古新聞、風呂敷、インスタント食品など。

野外活動に必要な道具

ナイフ、磁石、地図、マッチ、缶切り、栓ぬき、コップ・食器・携帯用コンロなどの食器用具。

▼下着のかえ



☆目的に合わせて持っていくたいもの 釣り具、動植物の観察図鑑、双眼鏡など。

いざという時必要な物

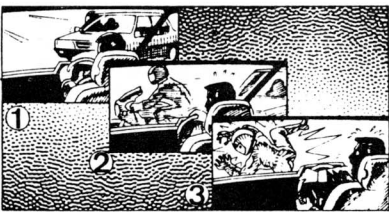


救急薬 雨具 三角巾・ロープ・修理用具・ガムテープ・針金・予備の豆電球・電池・健康保険証など。

持ち物を整える

家族で話し合おう 交通安全

自動二輪車は、車体が小さいので他のドライバーから見つけられにくく、また、自動車の陰に隠れてしまうことがあります。



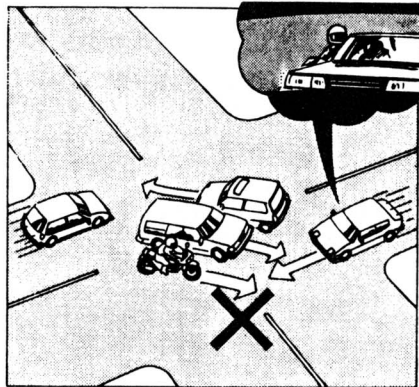
図のように、一緒に右折する自動車があったり、対向車線に右折車があると、ライダーは、それぞれの自動車の陰に隠れてしまいます。つまり、対向直進車のドライバーの死角に入ってしまうのです。もし、ライダーが直進車の有無を確認せずに曲がったらどうなるでしょう。直進車から見れば「飛び出し」と同じこととなります。ドライバーがライダーを発見してブレーキを踏んでも間に合わないという、最悪の事態にもなりか

ねません。 右折するときは、他の車の動きや前後に、左右の安全を目と耳で必ず確かめるようにしてください。

6月の交通事故

人身事故	1件(7)	合計	7件(12)
物損事故	6件(5)		
富士川身延線	1件(3)		
国道一号线	3件(6)		
町道	3件(0)		
県道	0件(3)		
その他	0件(0)		

()は昨年



社会教育あれこれ 今、若者の言葉は

若者の言葉について少々。最近では、造語・新語ブームとか。年間に一万語ぐらいの新語が世に送り出されてくるといわれ、その中には市民権を得て、永く使われるものもあるが、大半はうたかたの如く消えていくのである。いくつか例を挙げてみたい。

- 例(やや古い) ○ハニワる(無表情な人という)
- メロンになる(顔面に青筋立っておこること)
- 土星本能(話に輪をかけて誇大化したがる人という)
- ハニワる(無表情な人という)
- メロンになる(顔面に青筋立っておこること)
- 土星本能(話に輪をかけて誇大化したがる人という)

例二(これもやや古い) ○江川る(だだをこね他人を犠牲にしてはばからない) ○古葉る(物陰から見るとこれなんぞは単に固有名詞に「る」をつけるだけの簡単な発想ではあるが、その固有

このブームの情報源がテレビ、週刊誌等であるところに問題があり、今の若者は創造力があっても皮相的で、言葉の中に批判精神がやや不足しているところが残念に思えるのである。さて、例に挙げた言葉をいくつか存知であろうか。

町の昔ばなし伝説(十一) 庚申信仰(その一)

下平の庚申さん

北松野の下平の少し上の所に矢平という所があります。昔、猿回しが猿を連れて下平の部落にきました。この猿回しは、猿を矢で射らせて当るか、当たらないかの賭けをして方々を歩いていました。猿回しの連れてくる猿は非常に利巧な猿で、腕自慢の人たちが何本矢を射ても必ず手を取ってしまうので、「矢取り猿」と呼ばれていました。

ここでこの賭けは、下平の山の神さんのお座(社)の横にある樟の木(大正年代まで生存した大木)の根元に猿をおいて、上の矢平からこの猿を射るといものでした。

粒良野の大猿

大昔、粒良野の里に大猿がいました。この猿はお宮さんを寝ぐらにしていて、村人たちに悪さばかりして困らせていました。あまり悪さをするので村人たちは、弓矢を作った、その矢で猿を射ましたが、老巧な大猿は射かけられた矢を尽く手であけてしまいました。

戸籍の窓

S 61・5・15〜6・14届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄
小山	植松隼人	信和 長男
坂下	青木一貴	清 長男
堺町	望月愛里	徹 長女

一里塚



娘が幼稚園での給食を全然食べないらしい。入園してからはりきって園生活を過しているが、給食の時間になると急に元気がなくなってしまうそうだ。だいが好き嫌いが多く、嫌いな給食が出されると一口も食べないで、ただ座っているだけらしい。

今まで家での食事は出されたものはよく食べ、好き嫌いなどまるでないように見えたが、よく考えてみると献立が常に子ども中心としたものであり、同一化されがちであることに気がついた。このような食事のことばかり

かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	大石四郎	八〇
大楽窪	上原良次	五〇
東町二	大石みよ子	五六
富士見町	白鳥芳樹	二七
かぎあな	望月徳雄	六三
八幡町	望月義晴	七九
富士松野	河西八重子	七六
大北町	吉野健一	八七

町への寄付金

(敬称略) S 61・5・31

十万円

神戸与四郎 (清水町)

善意銀行へ寄託 (敬称略)

S 61・5・19〜6・11

車イス一台

鈴木 次郎 (仮下町)

二万円 望月 高 (八幡町)

社会福祉事業寄付金(敬称略)

八万二千二百八十七円

イハラケミカル労働組合

編集後記

昭和33年7月から発行しました「広報ふじかわ」は、今月号で三百号を迎えました。これからも、みなさんに親しまれる広報紙づくりをめざして編集していきたいと思いますので、ご支援をお願いします。

お母さんの知恵袋
 ファスナーと洗濯
 衣類のファスナーは、洗濯を繰り返していると動きが悪くなってくるものが多くあります。スカートやパンツ、子ども用の半ズボンなど、ファスナーが付いているものを洗濯機で洗うときは、必ずファスナーを閉めて洗うことが大切です。開けたまま洗うと、ほかの洗濯物を引っかけたり、ファスナーも壊れやすくなります。特に金属性のファスナーの場合は、洗濯を繰り返しているうちに硬くなつて滑りが悪くなります。汚れのひどい子どものズボンなどは、洗濯が激しいだけに硬くなつて上にあがらなくなってしまうことがあります。そんな時は、乾かしてからロウを薄く塗ると滑りがよくなります。ロウを塗ったら乾いた布でよくふき込み、余分なロウ分を除いておくことです。生地が厚いジーンズのファスナー部分の場合は、乾いていると思っても布地が重なった部分に湿り気が残り、そのまましまうと金属性のファスナーからさびが出る場合がありますので十分に注意しましょう。

文協俳句会
 宮町 増井 冬木
 読み返す奥の細道梅雨雨読
 やや派手な服着て出るや梅雨の街
 大北町 天野 たま
 喜寿祝ぐや早苗根づきて濃みどり
 南町二 法月 幸子
 日迎へも日送るも海枇杷熟うる
 南町一 影島 智子
 箱苗の白芽の母の匂ひかな
 南町一 上野みつ子
 蜘蛛の子のみどり色して散らばれり
 南町一 上野 君江
 万緑や再就職の声はずむ
 南町一 望月 洋子
 水神を上みに祀りて田水澄む
 南町一 田辺つぎ子
 さからう子でで虫角を高く出し
 清水町 宇佐美裕子
 泥足を抜きし植田に夕茜
 南町一 宇佐美幸子
 子の予習多くなりたる日永かな
 旭町 笠井みち子
 送られてむし暑きゆえ振りむかず

(婦人会)